



ピアノ演奏&中国伝統文化鑑賞会



PTA 研修部主催のピアノ演奏 & 中国伝統文化鑑賞会が、9月26日、授業参観に合わせて開催されました。今年は、広州日本人学校創立20周年を記念して、広州日本商工会より寄贈されたグランドピアノのお披露目会と中国伝統芸能の一つである変面の鑑賞でした。



今回、その新しいグランドピアノを演奏したのは、黄顥華さんです。彼は現在、中国5大音楽学院の一つである星海音楽学院のピアノ科学生で、若手ピアニスト育成のためのヤマハ奨学金コンクールアジア大会で見事一位を獲得し、将来を嘱望されているピアニストです。演奏された曲は「ベートーベンピアノ・ソナタ 第21番ハ長調ワルトシュタイン」と「ショパン舟歌(バルカローレ) 嬰へ長調」でした。児童・生徒たちは普段聞くことのない精緻な旋律と、甘美な鍵盤の調べに、言葉を失うほどずっと聞き惚れていました。体育館フロアに座って鑑賞していた子どもたちからは、「すげー!」「カッコイイ!」という感嘆の声が聞こえてきました。演奏が終わった後「先生、あんなにピ



アノを弾けたら、楽しいだろうね!」という子どもの声が特に印象的でした。

後半では、中国伝統文化「川劇」の中で最も不思議で有名な変面でした。瞬時に変わる面の仕組みは「一子相伝」の秘伝とされ、中国では第一級国家機密とか。どんなに目を凝らして見ても、カメラで捉えようとしても、その早技の謎は解けません。鮮やかな衣装が翻った瞬間に、付けていた面が変わり、表情が変わります。あまり目にする事のない変面の技を、日本の歌舞伎と比較しながら見ていた子もいたようです。歌舞伎と比べると色鮮やかなお面の楽しさと、スピード感・躍動感のある動きに圧倒されていました。また、変面の演者がステージから降り、子どもたちの目の前で変面を披露すると、大きな盛り上がりを見せました。促されて、触ろうとした瞬間に変わる面の色に子どもたちは、驚嘆の声を隠し切れませんでした。

今年度も、中国の伝統的な文化を肌で感じる貴重な経験となりました。